

令和4年度の決算の状況について

1 一般会計 ～令和4年度の実質収支額は20億8,391万円の黒字です～

本市の令和4年度の歳入は577億9,519万円。歳出は548億6,351万円で、差し引き額（形式収支）は29億3,168万円の黒字です。そこから翌年度に繰り越すお金である8億4,777万円を差し引いた額（実質収支）は20億8,391万円の黒字になりました。

■歳入について

歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は3億8,791万円（3.5%）増加し、自主財源全体では、繰越金の増加などにより28億5,808万円（14.4%）増加しました。

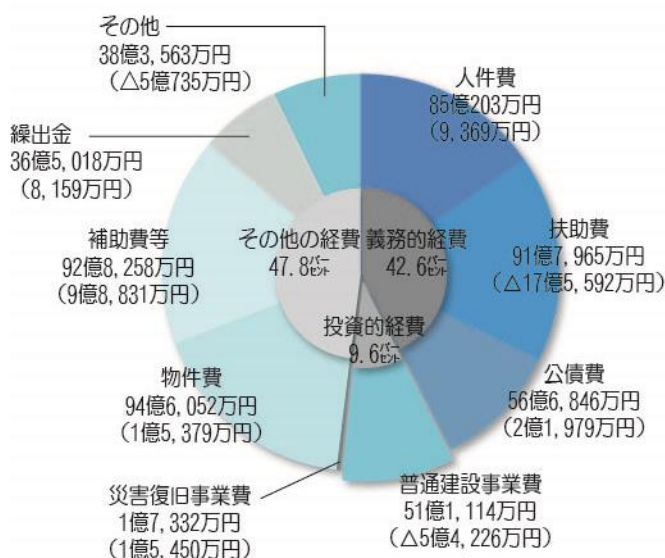
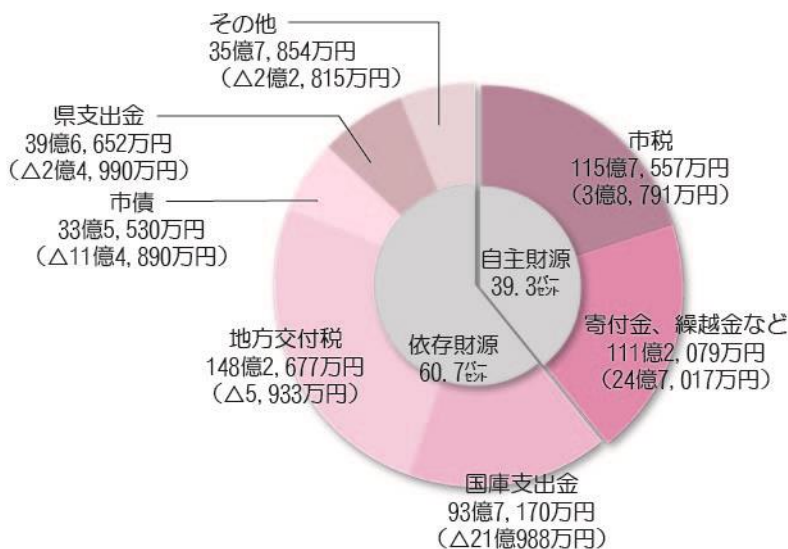
依存財源の代表的なものである地方交付税は5,933万円（0.4%）減少し、依存財源全体でも国庫支出金の減少などにより37億9,616万円（9.8%）減少。歳入全体では、9億3,808万円（1.6%）減少しました。

■歳出について

歳出を性質別で前年度と比較すると、義務的経費は、国の施策による子育て世帯臨時特別給付金の皆減などによる扶助費の減少により14億4,244万円（5.8%）減少し、投資的経費は、生産施設等整備事業の皆減などによる普通建設事業費の減少により、3億8,776万円（6.8%）減少しました。その他の経費は、価格高騰緊急支援給付金の皆増などによる補助費等の増加により、7億1,634万円（2.8%）増加し、歳出全体では11億1,386万円（2.0%）減少しました。

R4年度歳入：577億9,519万円

R4年度歳出：548億6,351万円



※カッコ書きは前年度比の数値

■R4年度の主な事業の概要

(決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です)

分野	事業名	決算額	事業概要
しごと	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	1億8,948万円 (3,868万円)	道の駅「石鳥谷」のリニューアルに向けて、南側駐車場の工事などを進めました。
	産業団地整備事業	1億1,430万円	市独自の新たな産業用地の整備に向け、(仮称)花南産業団地の実施設計や用地買収に着手しました。

分野	事業名	決算額	事業概要
暮らし	花巻スマートインターチェンジ整備事業	1億1,039万円 (1億76万円)	花巻PAスマートICの令和5年度内の供用開始に向けて、引き続き工事を行いました。
	公共交通確保対策事業	1億5,860万円	路線バスへの補助や予約応答型乗合交通の利用促進を図ったほか、大迫バスターミナルから岩手医大および盛岡赤十字病院を經由し、盛岡駅まで運行する新規バス路線に対する補助を行いました。
人づくり	乳幼児、小中学生、高校生等医療費助成事業	4億2,595万円	安心して子育てができる環境を整えるため、市内の乳幼児、小中学生、高校生などの医療費助成を拡充し、医療機関窓口での支払い負担を軽減しました。
	第3子以降保育料負担軽減事業	2,436万円	安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、市独自に第3子以降の保育料の一部または全額を補助しました。
	母子保健事業	9,746万円	妊産婦・乳幼児の健康診査や健康教室などのほか、母子の心身の健康をサポートする「産後ケア事業」「産前・産後サポート事業」を実施しました。
	学童クラブ施設整備事業	4,336万円	南城学童クラブの増築や旧花巻学童クラブの解体に向けた実施設計などを行いました。
	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業	3,574万円	大迫高校の生徒確保のため、生徒確保対策協議会への補助金を拡充したほか、ホテルベルンドルフを学生寮として改修しました。
づくり地域	定住促進事業	5,888万円	子育て世帯や移住希望者の市内における住宅取得などを支援するため、奨励金や補助金を交付しました。
	振興センター等整備事業	1億7,820万円 (809万円)	旧亀ヶ森小学校を亀ヶ森振興センターとして利用するための改修などを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策経費 ～令和4年度は31億3,081万円で対策を行いました～

感染症の予防及び感染症の影響を受けている市民や事業所に対する支援に加え、物価高騰対策に早急に取り組む必要があったことから、令和4年度早々から数次にわたり補正予算を編成して対応しました。

その結果、令和4年度にコロナ対策・物価高騰対策として使われたお金は、31億3,081万円となりました。そのうち市の一般財源は4億1,532万円、ふるさと納税充当額は1億4,340万円で、市の負担額は5億5,872万円です。

■感染防止対策として

ワクチン接種の計画的な実施、児童福祉施設での感染予防対策、抗原検査キットの市民などへの配布などを行いました。また、コロナに関する経済対策として、住民税非課税世帯等、温泉利用者、物産関連事業者、農業者などへの支援を行いました。

■物価高騰対策として

中小企業、非課税世帯等、子育て世帯、介護・障がい者福祉サービス提供事業所、保育施設、公共交通事業者などへ支援を行いました。

■R4年度の新型コロナウイルス感染症対策事業の経費内訳

分野	事業名	決算額	事業概要
感染防止対策	新型コロナウイルスワクチン接種事業	7億4,196万円	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を計画的に実施し、新型コロナウイルス感染症のまん延、重症化の予防に努めました。
	児童福祉施設等感染拡大防止事業	3,798万円	児童福祉施設（保育園など）での感染予防対策を推進するため、マスクや抗原検査キットなどの感染防止用物品を購入しました。

分野	事業名	決算額	事業概要
感染防止対策	感染症予防緊急対策事業	3,706万円	消毒用アルコールや抗原検査キットを確保し、市民の検査に活用することで感染予防を図りました。
	学校保健事業	2,420万円	小・中学校での感染予防対策を推進するため、マスクや抗原検査キットなどの感染防止用物品を購入しました。
	その他	1,149万円	広報はなまき、コミュニティFMでコロナ対策の周知などを行いました。
経済対策	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	2億526万円	住民税非課税世帯などに対し、1世帯あたり10万円を給付しました。
	観光・物産事業者等緊急対策事業	2億2,643万円	市内の温泉宿泊施設などを利用する県民などを対象に利用料を助成したほか、貸切バス事業者への支援などを行いました。
	収入保険加入促進事業	2,156万円	市内農業者や農業法人が収入保険に加入する際の保険料の一部を補助しました。
	その他	2,794万円	生活困窮者に対し、生活の継続と早期自立を支援するための支援金の給付などを行いました。
物価高騰対策	中小企業持続支援事業	6億3,775万円	物価高騰の影響を受けている市内事業者の事業継続を図るため、地代・家賃に対する支援やキャッシュレス決済に対するポイント付与キャンペーンなどを行いました。
	価格高騰緊急支援給付金給付事業	4億3,197万円	住民税非課税世帯などに対し、1世帯あたり5万円を給付しました。
	はなまき子育て世帯臨時特別支援金給付事業	3億5,228万円	子育て世帯に対し、子ども1人あたり1万5千円を給付しました。
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	8,785万円	低所得の子育て世帯に対し、子ども1人あたり5万円を給付しました。
	原油価格高騰対策緊急支援事業	6,420万円	住民税非課税世帯などに対し、1世帯あたり6千円の灯油券を交付しました。
	飼料購入緊急支援事業	3,347万円	畜産農家に対し、配合飼料および乾牧草の購入費用の一部を支援しました。
	社会福祉施設等物価高騰対策事業	1,968万円	介護サービス高齢福祉施設、障がい福祉サービス事業所などに対し、支援金を給付しました。
	低所得者用物価高騰対策緊急支援事業	1,948万円	住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり1万円の支援金を給付しました。
	婚活支援団体育成事業	1,132万円	市内の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用を支援しました。
その他	1億3,893万円	私立保育所などに対し、給食材料費の支援をしたほか、市内の乗合バス事業者、タクシー事業者への支援などを行いました。	

令和4年度イーハトーブ花巻応援寄附金（ふるさと納税）の活用状況

令和4年度は、ふるさと納税の制度を活用し、全国の皆様から31万9,759件、金額にして46億847万7千円もの寄付をいただきました。

令和4年度にいただいた寄附金46億847万7千円のうち、23億2,395万円は、寄付の受入れに係る事務費（返礼品調達費用や各ポータルサイトの利用料など）に充当し、残る22億8,452万7千円は、寄付者が希望した使い道に応じて、次の事業などに充当しました。

用途	充当額	内容
①仕事いっぱい、雇用いっぱい、活力に満ちたまちづくり	5億2,940万円	自動操舵システムや農業用ドローンなどのスマート農業機械の導入に対する支援、市内に立地する企業の増設に対する支援などに活用しました。
②自然豊かな地域でともに支え、誰もが安心して、いきいきと快適に暮らすまちづくり	8億1,320万円	乳幼児、小中学生、高校生等の医療費助成のほか、公園の整備や道路の維持補修、危険交差点の安全対策、高齢者福祉タクシー券をはじめとした高齢者に対する支援などに活用しました。
③郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ心豊かな市民が育つまちづくり	5億6,024万1千円	第3子以降の保育料負担軽減に向けた支援、保育士確保に向けた家賃や奨学金返済に対する支援などに活用しました。
④市民目線で経営する強くて優しいまちづくり	7,060万円	広報はなまきの印刷費用やコミュニティFMなど市政情報の発信などの管理業務に活用しました。
⑤市長におまかせ	3億円	寄附金の使途として、「市長におまかせ」を希望された寄付は20億2,674万円ですが、そのうち10億3,862万円は寄付の受け入れに係る事務費（返礼品調達費用や各ポータルサイトの利用料など）に充当、6億8,812万円は上記の使途①～④の事業へ充当し、残りの3億円をまちづくり基金（貯金）に積み立てました。このまちづくり基金に積み立てた3億円は、令和5年度において、収入保険加入促進事業、水田永年生牧草支援事業、健康診査事業、就学援助事業などの事業に充当し、活用する予定です。
⑥ウクライナ人道危機救援金への寄付	1,108万6千円	日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」へ寄付を行いました。

2 特別会計および公営企業会計の決算について

■特別会計について

特別会計とは、特定の目的のために保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計です。お金の出し入れをはっきりさせるため、一般会計とは別に管理しています。

本市には、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公設地方卸売市場事業、の4つの特別会計があり、それぞれの会計で決算が行われています。

■R4年度の特別会計決算の総括表

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	84億6,616万円	84億6,559万円	57万円
後期高齢者医療	22億246万円	22億139万円	107万円
介護保険	107億1,637万円	105億2,078万円	1億9,559万円
公設地方卸売市場事業	4,231万円	4,030万円	201万円
合計	214億2,730万円	212億2,806万円	1億9,924万円

■公営企業会計について

公営企業会計とは、特別会計の中でも複式簿記により経理を行う会計です。本市では、下水道事業がこれにあたり、公共下水道事業・農業集落排水事業・戸別浄化槽事業を一体的に管理しています。

■R4年度の下水道事業会計決算の状況

項目		公共下水道	農業集落排水	戸別浄化槽
収益的収支 (税抜き)	収入	23億7,288万円	8億8,280万円	1億5,006万円
	支出	22億6,044万円	8億8,448万円	1億8,619万円
	純利益	1億1,244万円	△168万円	△3,613万円
資本的収支 (税込み)	収入	10億4,896万円	6億1,874万円	404万円
	支出	21億6,303万円	10億3,793万円	3,196万円
	不足分	11億1,407万円	4億1,919万円	2,792万円

※不足分は、当年度分の留保資金などから補てんしています

3 本市の財政状況 ～全項目で健全化基準をクリアしています～

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率（4分類）と資金不足比率があります。

国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が【健全団体・早期健全化団体（要注意状態）・財政再生団体（破たん状態）】のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどのような状態になっているのかを判断することができます。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。

本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

■財政健全化判断比率

区分	花巻市のR4年度の数値 (カッコ内はR3年度数値)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— $\frac{\text{パーセント}}$ (— $\frac{\text{パーセント}}$)	11.88 $\frac{\text{パーセント}}$	20 $\frac{\text{パーセント}}$
連結実質赤字比率	— $\frac{\text{パーセント}}$ (— $\frac{\text{パーセント}}$)	16.88 $\frac{\text{パーセント}}$	30 $\frac{\text{パーセント}}$
実質公債費比率	8.4 $\frac{\text{パーセント}}$ (8.3 $\frac{\text{パーセント}}$)	25 $\frac{\text{パーセント}}$	35 $\frac{\text{パーセント}}$
将来負担比率	50.2 $\frac{\text{パーセント}}$ (50.4 $\frac{\text{パーセント}}$)	350 $\frac{\text{パーセント}}$	

実質赤字比率：普通会計（一般会計など）の赤字比率

連結実質赤字比率：市の全ての会計（普通会計・特別会計・公営企業会計）を含めた赤字比率

実質公債費比率：市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率

将来負担比率：市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率

■資金不足比率

会計名	花巻市のR3年度の数値 (カッコ内はR2年度数値)	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	— $\frac{\text{パーセント}}$ (— $\frac{\text{パーセント}}$)	20 $\frac{\text{パーセント}}$

※表中、各規準は国が示した数値です

※赤字額、資金不足がない場合は、「— $\frac{\text{パーセント}}$ 」で表示しています

4 本市の基金（貯金）および地方債（借金）の状況 ～貯金が増加し借金が減少しました～

■基金（貯金）について

本市には主な一般会計の基金（貯金）として【財政調整基金・減債基金・まちづくり基金】の3つがあります。その主な3つの基金（貯金）の令和4年度末現在高は、154億円となっています。

■地方債（借金）について

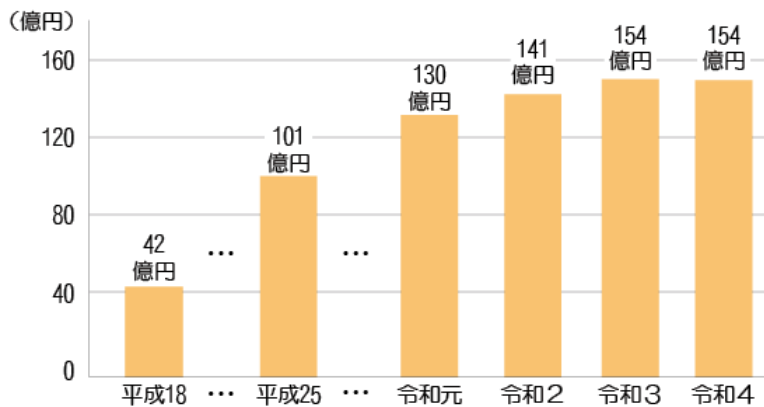
本市の地方債（借金）の令和4年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ39億円減少し、898億円となっています。

そのうち、一般会計における地方債残高は542億円ですが、国から後年度に地方交付税として受けることができる額などを除いた、**市独自の財源で返済しなければならない、一般会計における地方債残高の実質的な将来負担額は133億円で、前年度末と比べ、およそ7億5,600万円減少しています。**

また、一般会計以外〔下水道事業会計および特別会計（公設地方卸売市場事業）〕の地方債残高は355億円で、前年度末と比べ、およそ18億円減少しています。

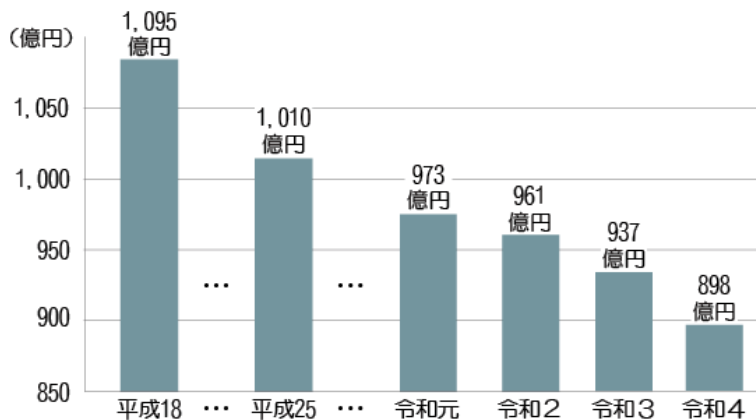
■主な一般会計の基金（貯金）現在高の推移

※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



■地方債（借金）現在高の推移

※一般会計と一般会計以外〔下水道事業会計および特別会計（公設地方卸売市場事業）〕の合計額



※令和4年度の地方債残高898億円のうち、一般会計分は542億円、一般会計以外（下水道事業会計など）分は355億円です。